

● 製品の特徴 (Feature)

- ☑ 耐久性: 105°C 2,000h (リップル重畳)
- ☑ 電圧: 350V_{dc} ~ 400V_{dc}
- ☑ 静電容量: 160uF ~ 1,600uF
- ☑ サイズ: φ22×25L ~ φ35×60L
- ☑ KMRシリーズ(従来品)と比較して1ランク小形化

● 製品体系 (Product Chart)

- ☑ KMQ/KMR ⇒ KHVへの置き換えを推奨
*小形化の系列 (基板自立形)

KMQ

- 標準品
- φ35×45L (400V680uF, 2.12Arms)
- 105°C 2,000h
- -25~+105°C

Since 2000.11

KMR

- 小形化
- φ35×40L (400V680uF, 2.03Arms)
- 105°C 2,000h
- -25~+105°C

Since 2005.12

NEW

KHV

- 高容量化 / 高リップル化
- φ35×35L (400V700uF, 2.72Arms)
- 105°C 2,000h
- -40~+105°C



Since 2024.05



● 推奨用途 (Recommended Application)

- ☑ スイッチング電源 / サーバー電源 (入力平滑, PFC出力)
- ☑ 太陽光発電用パワーコンディショナー
- ☑ 汎用インバータ (DCリンク)

● 製品の利点 (Advantage)

従来の陰極箔



「誘電体」構造

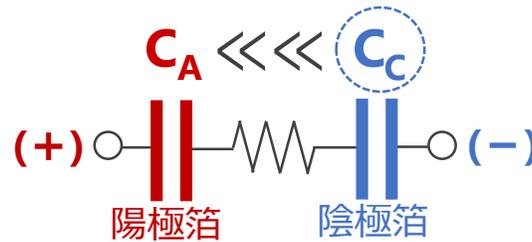
新技術の陰極箔



「導電性中間層」構造

☑ 合成容量の計算式

$$C = \frac{C_A \times C_C}{C_A + C_C} \cong C_A$$



☑ KHVの3つの利点 (KMR比)



- ① 高容量化・・・同サイズで高容量
- ② 高リップル化・・・同サイズで高リップル電流
- ③ 小形化・・・同容量ベースで小形

従来品

KMR

【要素技術ポイント】

電解紙

- ・薄厚電解紙

アルミ箔 (陽極)

- ・高静電容量箔

アルミ箔 (陰極)

- ・陰極箔容量UP
⇒合成容量UP

新陰極箔(導電性中間層)

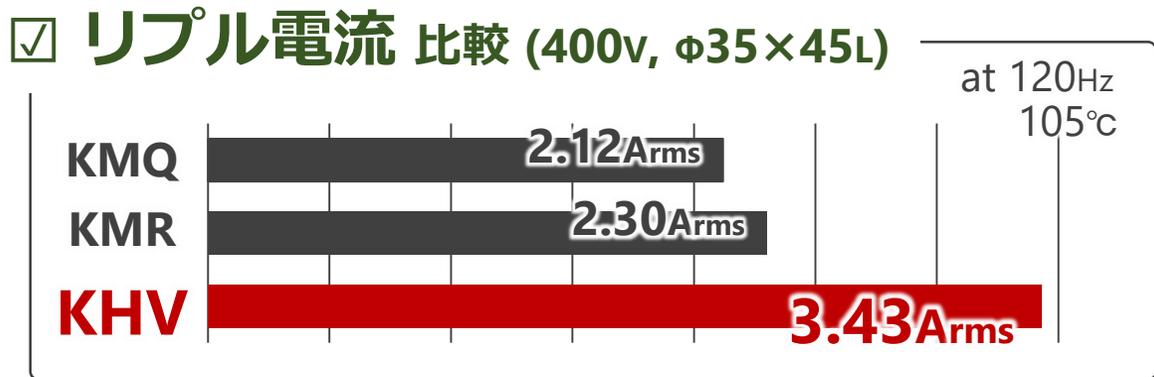
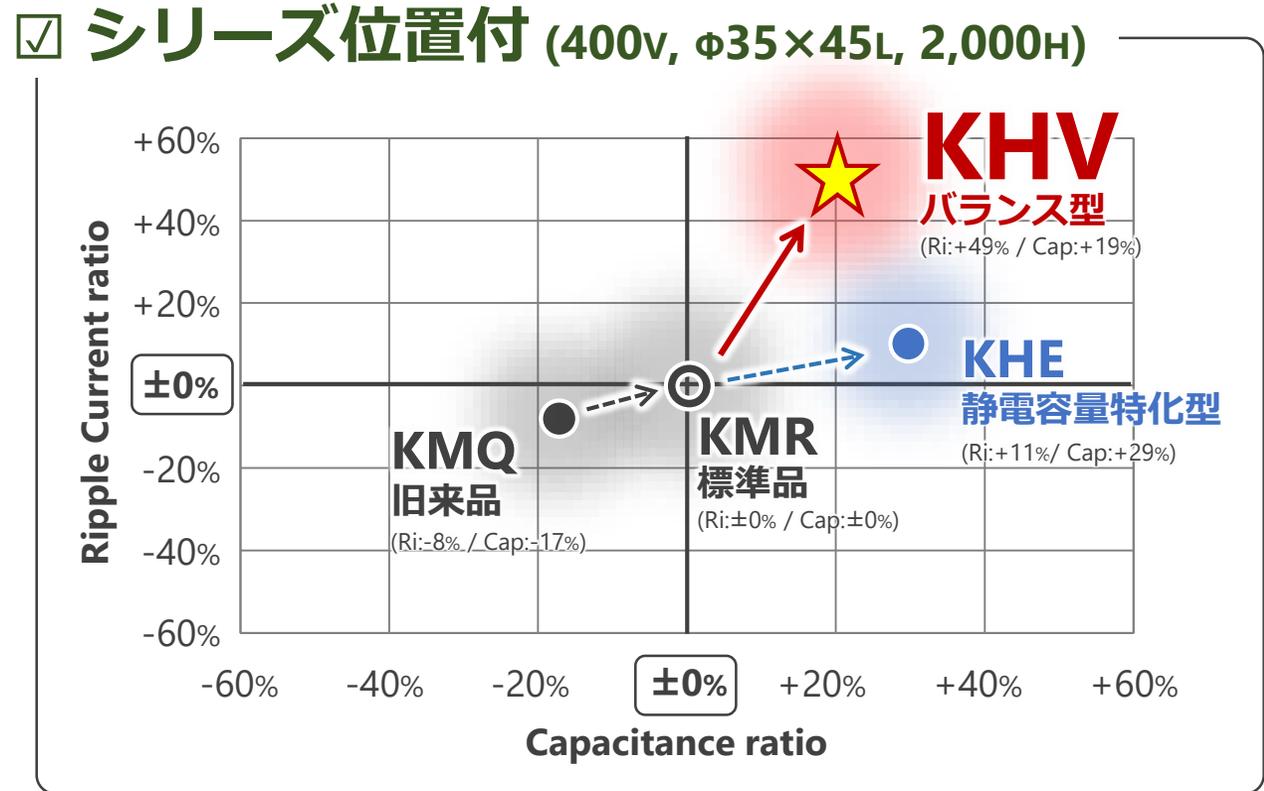
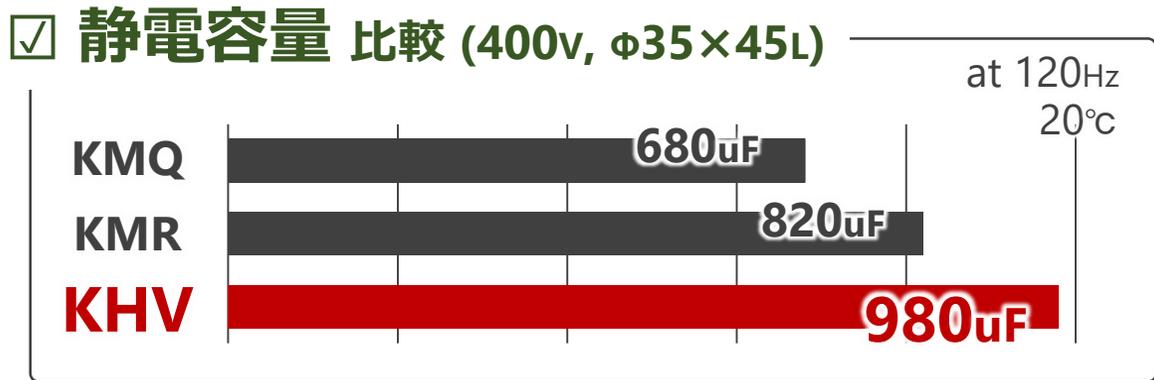
特許取得済み

NEW

KHV

● 得られるメリット (Benefit/Evidence)

- ➔ ①高容量化 / ②高リップル化 「機器の部品点数削減」
③小形化 「機器の小形/低背/軽量化」

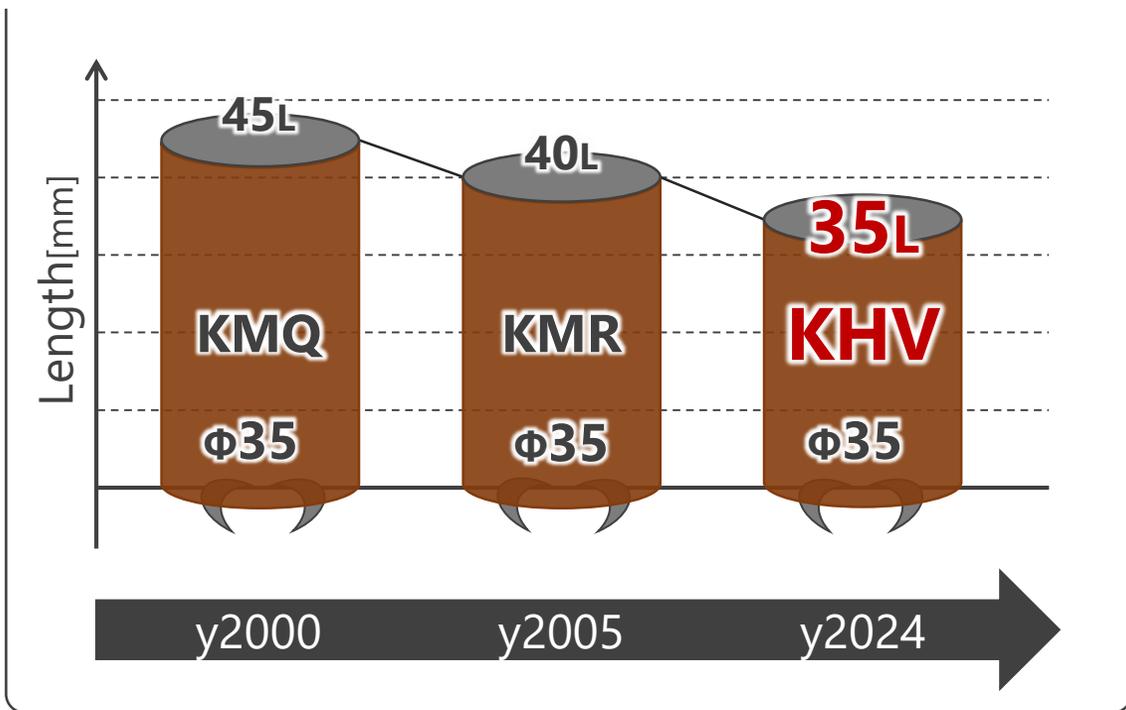


● 得られるメリット (Benefit/Evidence)

- ➔ ①高容量化 / ②高リップル化 「機器の部品点数削減」
- ➔ ③小形化 「機器の小形/低背/軽量化」



☑ L寸法 比較 (400V680uF, φ35固定)



☑ 部品点数削減 (総静電容量を固定)

